

令和 5 年度  
事業報告

第 10 期

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 由愛会

## 1. 事業の概況

令和5年度は、今もなお続いている不穏な世界情勢と不安定な為替レート、働き手の人手不足を起因とした資源や物価価格の異常な高騰に見舞われる経済状況にあつての運営となりました。

また、昨今の生活様式を一変させた新型コロナウイルス感染症が第二類から第五類に引き下げられ、規制が緩和されたことに依って人流が活発となり、今後に於ける社会経済活動の活性がより一層期待されるところでありますが、未だ感染者が後を絶たず、感染力の強さは今以って変わらず脅威であり、まして本荘由利地域の感染状況下にあつては、当法人の職員並びに利用者も新型コロナウイルス感染の影響を受けたことにより、利用者の安全・安心を確保するうえでは、在宅サービス事業の休業及びサービスの縮小を余儀なくされた次第であります。

これらのことをふまえ、国の政策では感染症や自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供されることが重要であるとのことから、介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）が義務付けられております。

こうした背景のもと、令和5年度は介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）鳥寿苑、東光苑、ケアセンター悠楽館、尾崎福祉相談センター、短期入所生活介護施設ケアステーション・愛の各事業並びに由利本荘市からの委託業務を含めた17事業で次の事業計画を掲げ取り組みました。

### 【事業計画】

#### （1）感染予防対策及び事業継続計画（BCP）の構築

令和5年度も前年同様に、新型コロナウイルス感染症予防対策に努めておりましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症への罹患者がまん延したため、止む無く一部業務に制限を掛けながら介護支援を行った次第です。なお、重篤化する利用者も無く大事に至らなかったことは非常に幸いでありましたが、業務の制限の影響もあつてか、なかなか利用者増に結びつけられず収支に影響を与えております。

また、各拠点の事業所に於いて、感染症及び自然災害の発生時でも事業の継続を求められていることから、事業継続計画（BCP）を作成し対策について協議を重ねております。

#### （2）事業運営の安定化（在宅サービス事業）

##### ① 各拠点施設（各事業所）の稼働率向上並びに各種加算取得を図る

各事業所に於いて、利用者への利用継続への声かけを強化するとともに利用者が求める介護支援の利用動向について調査を図ることとしております。

また、短期入所施設では、利用者及び家族の意向のもと長期利用（30日超）に対応し、更に緊急に施設利用を必要とした際は迅速に対応しております。

加算の取得については、夜勤職員配置加算（鳥寿苑）、看護体制加算（鳥寿苑）の取得に取組み、他の各事業所に於いても加算取得可否について検討を図っております。

② 利用者へのサービスの質の向上を図る

顧客満足度の調査について、各事業所内で行われる業務の洗い出しを行い、利用者及び家族が求めるサービスとの適・不適について、改善に向けた協議を重ねております。

③ 月次の事業活動収支状況を把握（分析）し運用改善を図る

月次の事業活動収支状況を基に各拠点での業務の見直し、コスト抑制について改善を含めて協議を重ねております。

(3) 福祉機器、介護ロボットの導入

職員の業務上の負担軽減に向けて、業務の効率化並びに職場環境を見直すとともに福祉機器等の導入を図るうえで情報収集に努め、合理的運用に向けて協議を重ねております。

(4) 職員の定着に向けた職場環境の整備

① 法人内・外の研修を図る

職員の知識向上並びに意識改革を図り次の実習及び研修を実施しております。

- ・現場実習（鳥寿苑） R5年11月28日 ケアステーション・愛 2名
- ・現場実習（東光苑） R5年12月12日、13日 ケアステーション・愛 2名
- ・認知症介護基礎研修 R5年6月～12月 鳥寿苑2名、東光苑 6名、  
ケアステーション・愛 2名
- ・社会福祉施設長資格認定講習 R5年4月～R6年3月 佐藤博樹、高橋哲

② 新人職員の指導体制（プリセプター）の継続を図る

新人職員への指導には、プリセプターを配置し継続的に実施しております。

③ 広報活動の継続を図る

広報担当に若手職員を起用し、職員の自覚意識及び育成を図るうえで就職説明会等に参加し、次の広報活動を実施しております。

- ・高卒求人説明会（3年生対象） R5年 7月13日（ナイスアリーナ）
- ・高校生就職活動サポートセミナー R5年12月12日（ナイスアリーナ）

2. 財産及びサービス活動増減の状況

(令和6年3月31日現在)

科目	第10期	第9期
	令和5年4月～令和6年3月	令和4年4月～令和5年3月
事業収益・サービス活動収益	748,550千円	749,056千円
サービス活動増減差額	△4,309千円	△18,965千円
当期活動増減差額	△4,400千円	△25,786千円
総資産	350,519千円	354,276千円

### 3. 法人の概要

- (1) 法人の名称及び代表者 社会福祉法人 由愛会 理事長 小林哲男
- (2) 主たる事務所所在地 由利本荘市薬師堂字谷地 287 番地 2  
及び電話番号 0184-28-0222
- (3) 認可年月日及び認可番号 平成 26 年 11 月 11 日 指令由本第 1924 号
- (4) 法人登記年月日 平成 26 年 11 月 13 日

### 4. 法人役員、評議員の状況 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

理事	監事	評議員	事務員	評議員選任・解任委員
7 名	2 名	8 名	4 名	3 名

### 5. 法人の行う事業 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

事業の種類	施設・事業種別	施設名称	施設長(管理者)	定員
第一種社会福祉事業	特別養護老人ホーム	鳥寿苑	高橋 哲	50 名
		東光苑	佐々木 喜隆	50 名
第二種社会福祉事業	短期入所生活介護	ケアステーション・愛	佐藤 博樹	34 名
		鳥寿苑短期入所生活介護	高橋 哲	22 名
		東光苑短期入所生活介護	佐々木 喜隆	15 名
	通所介護	鳥寿苑通所介護事業所	太田 秀雄	20 名
		悠楽館通所介護事業所	高橋 弘子	20 名
		知的障がい者デｲｲｰビスセンター	高橋 哲	—
		東光苑通所介護事業所	佐々木 喜隆	25 名
	訪問介護	鳥寿苑訪問介護事業所 (尾崎出張所・東光苑出張所)	今野由美子	—
	生活支援ハウス	鳥寿苑生活支援ハウス	高橋 哲	10 名
		悠楽館生活支援ハウス	高橋 哲	10 名
東光苑生活支援ハウス		佐々木 喜隆	8 名	
公益事業	居宅介護支援	鳥寿苑居宅介護支援事業所	菅野 照美	—
		東光苑居宅介護支援事業所	菊地 智広	—
		尾崎居宅介護支援事業所	矢野 香里	—
	訪問入浴介護	鳥寿苑訪問入浴介護事業所	高橋 哲	—
収益事業	なし			

## 6. その他活動の状況

### (1) 法人職員ストレスチェック実施状況

ストレスチェック対策（50名以上の事業所職員）

- ・対象施設：鳥寿苑、悠楽館 実施職員数：70名 令和5年5月15日～28日  
東光苑 実施職員数：56名 令和5年5月1日～16日

### (2) 会議開催状況

会議名	開催回数（R5年4月～R6年3月）
拠点会議	12回
財務諸表月例監査	12回

### (3) その他

社会福祉法人に係る指導監査

実施日：令和5年10月24日

指導監査者：由利本荘市健康福祉部 3名

監査結果：文書指摘事項0件 口頭指摘事項5件

## 7. ケアステーション・愛・尾崎居宅介護支援事業所 令和5年度事業報告

### (1) 利用状況

#### ○ケアステーション・愛

短期入所生活介護事業を営むケアステーション・愛の利用者数は男性21人、女性42人、利用者の合計人数63人、年間での利用総人数9,460人、1日あたり25.85人、前年度の年間利用総人数より157人減となりました。

また、利用者の男女別でみる要介護度平均は、男性3.20、女性3.00であり、平均年齢は、男性84.48歳、女性90.29歳、平均年齢88.35歳となりました。

男女とも平均年齢の数値は、昨年とほぼ同様であったものの85歳以上の利用者は77.78%（男性57.14%、女性88.10%）を占めており、女性高齢者の施設割合の高い利用でありました。

なお、施設の利用日数については、利用者のおかれている生活環境等で、介護保険適用30日を越えて連続利用されるご利用者は6割を占める状況にありました。

#### ○尾崎居宅介護支援事業所

尾崎居宅介護支援事業所の利用者への介護計画作成実績は、年間延べ人数594名、由利本荘市からの委託である介護予防計画作成は、年間延べ人数192名の計786名となりました。前年度に比べ150名減少となり要因として、職員1名減体制であったことと、利用者が在宅サービス利用から特別養護老人ホームへの移動や病気の悪化等により入院治療を要したことです。減少となりましたが、旧本荘市内在住者の方からの相談及び紹介も増えておりますので、引き続き地域住民の方々からの情報収集並びに市、地域包括支援センター、他の指定居宅介護支援事業者、介護保険施設等との連携を図りながら、利用者にあったサービスの提供に努めます。

### (2) 活動報告

介護サービス（入浴・排泄・食事・相談・日常生活の手伝い）計画に基づき、利用者の立場に立った介護サービスの提供を行うとともに、介護に携わる家族や支援者の介護負担の軽減に努めるよう次のように実施しました。

#### ① 生活援助

利用者の持つ身体残存機能を把握することで、日常生活に於いて個々に必要とする介護援助を行いながら、利用者が集団生活を通じて交流する機会を心がけ「楽しむ」生活を送られるよう取り組みました。

- ・身体に合わせた支援を必要とする利用者には、車いす、歩行器、食器等、適した機器・機材を用意し、残存機能維持を支援しました。
- ・日常のレクリエーション及び各月の行事を通じて利用者間の交流を支援しました。
- ・秋田県医療・介護・福祉施設省エネルギー化支援補助金を活用し、居室12部屋の空調設備を改修し居室環境整備をしました。
- ・介護者の負担軽減について、緊急時の入所受入れ相談及び利用日数の変更等に対応しました。

② 健康管理

利用者並びに職員の健康管理を行いました。

- ・健康診断 令和5年 7月～10月 職員 26名
- ・季節性インフルエンザ予防接種 令和5年 11月 21日  
利用者 25名 職員 29名

③ 委員会

- ・身体拘束廃止委員会（月1回）・感染・褥瘡対策委員会（月1回）
- ・行事企画委員会（月1回）・食事検討委員会（月1回）
- ・居宅伝達会議（週1回）

④ 災害・消防避難訓練

火災、災害発生時を想定し、利用者と職員が一体となって避難訓練を実施しました。

- ・災害時避難訓練  
水没時の避難確保を想定した訓練 令和5年 10月 17日  
" 利用者 10名 職員 14名
- ・消防訓練（2回実施）  
夜間時の火災を想定した訓練1 令和5年 5月 26日  
" 利用者 24名 職員 11名  
夜間時の火災を想定した訓練2 令和5年 11月 24日  
" 利用者 20名 職員 9名

⑤ 感染症予防対策

施設利用者への面会制限（地域のまん延状況に依る）・入室禁止、家族や介護者の病院付添時の検温測定の協力を得ながら健康状態を確認し、感染予防に努めました。

加えて、職員の手洗い・うがい・マスク着用及び手に触れる箇所の消毒を徹底し、検温2回実施（出社時、午後3時）早期の体調変化や地域の感染者情報収集に努め、できる限り人混みを避けた行動への協力を講じました。

しかしながら、市中感染の状況下では防ぐ事ができず令和5年10月27日発生日から利用者16名、職員9名に新型コロナウイルス感染がまん延し、収束するまで一月要した次第でありましたが、利用者及び職員ともに重篤化することも無く大事に至らなかったことは非常に幸いでした。今後も引き続き迅速な感染者情報の共有化を図りながら職員一人一人が常に衛生対策に注意し、日常の業務にあたって参ります。

## 8. 特別養護老人ホーム鳥寿苑・ケアセンター悠楽館 令和5年度事業報告

### (1) 利用状況

特別養護老人ホーム鳥寿苑は、1日平均47.00人、前年度比較2.54%減、短期入所生活介護事業所は、1日平均16.06人、前年度比較6.94%減、鳥寿苑通所介護事業所は、1日平均12.20人、前年度比較6.38%減、悠楽館通所介護事業所は、1日平均8.70人、前年度比較20.91%減、訪問介護事業所は、1日平均4.10人、前年度比較30.51%減、訪問入浴介護事業所は、1日平均1.60人、前年度比較30.43%減、居宅介護支援事業所は、1日平均6.53人、前年度比較8.03%減となりました。

また、介護報酬請求金額の総額は341,635千円前年度比較3.20%減となり、事業所ごとの割合は、施設利用57.59%、短期生活利用18.39%、鳥寿苑通所8.70%、悠楽館通所5.99%、訪問介護1.07%、訪問入浴0.73%、居宅介護支援7.52%でありました。

由利本荘市からの委託事業として、知的障害者デイサービスセンターについては、障害者自立支援法に基づきサービス提供し、実績は延べ人数55人でありました。

なお、生活支援ハウスについては、独居生活で不安を抱えている高齢者に対して安心して、生活を送れるよう支援の場を提供する目的としています。利用者は、冬期間の利用が集中しております。実績として、鳥寿苑生活支援ハウスが延べ人数370人、悠楽館生活支援ハウスが、延べ人数160人のご利用となりました。

### (2) 活動報告

介護サービス計画に基づき、可能な限り居宅における生活への復帰等を念頭において、日常生活の介護、相談や援助、社会生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、利用者等が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、利用者の立場に立った介護サービス提供に努めることを基本方針に掲げ次のように実施しました。

#### ① 生活援助

利用者の自立の向上を目標にADLを把握し、サービス計画に反映させた統一したケアを行い自立動作の向上に向けた対応を図りました。

- ・車いす等移動時の機器を随時見直し、移動の自立を強化した。
- ・身食器の工夫や、食事の場所を見直し、自立を強化した。
- ・身洗面所の整容動作、また洗面所へ行けない利用者はベット上でのうがい介助を強化した。また、ゆとりある多様な活動として、夏祭りの行事を新型コロナウイルス感染防止を講じながら、利用者のみの実施とし施設内での人と人との絆を深め、充実した生活を送ることができました。

#### ② 健康管理

利用者の介護の上昇等により病院受診者が増加する中で、一人一人が心身共に健康で充実した日常生活が送れるように健康管理を行いました。

ア 利用者

- ・結核検診

令和5年 7月13日

38名



- ・季節性インフルエンザ予防接種 令和5年 11月8日・15日 46名
- ・新型コロナワクチン接種 令和5年 6月7日・14日  
11月8日・15日 計95名

#### イ 職員

- ・健康診断 令和5年8月29日～11月28日 44名
- ・健康診断（夜間業務従事者） 令和6年1月29日～2月29日 15名
- ・季節性インフルエンザ予防接種 令和5年11月8日・11月15日 73名
- ・新型コロナワクチン接種 令和5年 6月7日・14日  
11月8日・15日 計104名

#### ③ 委員会

- ・管理委員会(月1回)・衛生委員会(月1回)・事故防止委員会(年4回)
- ・給食委員会(年3回)・リハビリ委員会(年2回)・衛生美化委員会(年4回)
- ・身体拘束廃止委員会(年4回)・感染防止対策委員会(年2回)

#### ④ 災害・避難訓練

火災予防、災害発生時を想定し、利用者と職員が地域住民と一体となって避難訓練を実施しました。

- ・鳥寿苑 令和5年 6月29日 悠楽館 令和5年 6月28日
- ・鳥寿苑 令和5年 10月20日 悠楽館 令和5年 10月24日

#### ⑤ 感染症予防対策

利用者の感染予防対策として、コロナ渦により面会を禁止しておりましたが、現在はタブレットを使用して面会を実施しております。

また、職員の出勤時の検温、マスク着用、手指消毒を実施し、基本的感染予防に心がけております。

## 9. 特別養護老人ホーム東光苑 令和5年度事業報告

### (1) 利用状況

特別養護老人ホーム東光苑は、1日平均47.52人、前年度比較101%・短期入所生活介護事業は、1日平均12.34人、前年度比較132.21%、通所事業所は1日平均14.9人、前年度比較95.64%、4.36%の減となっております。全体の実施状況としては個々のサービス計画に基づき、出来るだけ地域の住み慣れた環境に近づけ、可能な限り自宅における生活復帰を念頭におき、日常生活の介護、相談援助、機能訓練、健康管理及び利用者の有する能力に応じて、自立した日常生活を営めるように一人一人の立場に立ったサービス提供を基本方針に掲げ、次のように実施いたしました。

### (2) 活動報告

介護サービス計画に基づき、利用者が有する能力に応じて安心・安全に自立した日常生活を営むことができるよう日常生活や健康管理及び療養上の支援を行い、利用者の立場に立った介護サービス提供に努めることを基本方針に掲げ、次のように実施しました。

#### ① 生活援助

利用者の自立向上を目標に日常生活動作を把握しサービス計画に反映せ、一人一人の自立動作向上に向けた対応を図るとともに車椅子等、移動機用器の使用を随時見直し、移動の自立を図りました。

- ・食器の工夫や食事の場所を見直し、自立強化を図りました。
- ・洗面時の整容所作、洗面所に行けない利用者はベッドでのうがい介助を強化しました。
- ・ゆとりある多様な活動の一環として、利用者と職員で、毎月誕生会の実施、敬老会としての実施は自粛したが、令和5年9月19日の誕生会と同時に米寿1名卒寿4名白寿1名合わせて6名の健康長寿を祝い、利用者間の親睦を深め、充実した生活を送ることができました。

まだ、コロナ禍の影響による夏祭の中止や、家族の参加出来るイベントを自粛せざるを得なかったこと等が残念でなりません。

来年こそは、家族と一緒に楽しい時間を過ごして頂きたいと願うものです。

#### ② 健康管理

利用者の介護度の上昇等により病院への受診者が増加していくなか、利用者一人一人が身心共に充実した生活が送られるように、利用者及び職員の健康管理を行いました。

##### ア 利用者

・利用者肺炎球菌	令和5年 7月28日	10名
・胸部レントゲン撮影	令和5年 7月24日	50名
・季節性インフルエンザ予防接種	令和5年 11月6日・13日	58名
・新型コロナワクチン接種	令和5年 6月23日・30日	58名
	令和5年 11月6日・13日	59名

## イ 職員

・健康診断	令和5年7月1日～令和5年12月31日	38名
・健康診断（夜間業務従事者）	令和6年3月4日	16名
・季節性インフルエンザ予防接種	令和5年11月6日・13日	58名
・新型コロナワクチン接種	令和5年6月23日・30日	52名
〃	令和5年11月6日・13日	60名

### ③ 特別養護老人ホーム東光苑・デイサービスいちょう館

- ・安全（事故）委員会（月1回）・給食委員会（月1回）
- ・人権委員会（月1回）・入浴委員会（月1回）・排泄委員会（月1回）
- ・運営委員会（月1回）・感染防止委員会（月1回）

### ④ 災害・消防避難訓練

火災予防や災害対応のため、利用者と職員、近隣自治会で構成されている東光苑防災援

護会等一体となって、避難訓練や救命救急講習等の訓練を行うものでしたがコロナ禍の中、単独訓練として行っております。

- ・避難訓練 令和5年 6月28日夜間想定避難訓練 25名（援護会3名）
- 〃 令和6年 1月18日 〃 78名

### ⑤ 感染症予防対策

利用者の感染症予防対策ですが、令和5年3月20日から制限付きで面会をしておりましたが、8月18日新型コロナウイルス感染拡大により再び面会中止の状況となっております。

来年度については、従前のように施設内へ、なに制限無く家族が利用者の居室まで、訪問出来るようになればと願うものです。